

池田町  
あれこれ見聞録

洪田見  
太田 勅

第二回 洪田見新屋敷の「身代わり地蔵尊」

洪田見新屋敷の東山麓に「身代わり地蔵尊」(※1)があります。今回は洪田見の山本保吉さん、脇坂豊さんのご協力を得て、この地蔵尊の由来を紹介いたします。まず、この地蔵尊に伝わる口伝から。



つたと言われている「長生寺」(※2)という名刺があった。天文年間(1574-1598)に武田信玄の軍勢に攻撃を受け、寺は焼かれ石仏は四散した。その際、武田の兵士が住民に斬りつけようとした時、地蔵尊が現れ、身代わりとなつて、その刃を防いでくれた。面白いのにはこれに続く、次のくだりです。

・時は流れ、昭和の初期、現「地蔵堂」の下に住んでいた山本弥代吉さんが東京で働いていたが、その夢枕に地蔵尊が現れ、畑に埋められてほしいとお告げあつた。そこで、村人達と「地蔵堂」の下の畑を掘り起こしたところ、六体の地蔵尊が発掘され、地蔵堂を建て祀つた。

な「お地蔵さま」として話題になり、近郊の村々から多くの人が参拝に訪れたといひます。当時は年一回祭りを催し、春はお花見・大名行列・浪花節などの演芸、秋は菊花展・句会なども開かれ、地域文化の活動拠点としてもにぎわいました。

この「身代わり地蔵尊」を町や観光協会のホームページ等で詳しく紹介し、町民の皆さんを始め、多くの人に知らせて欲しいものです。なお、「身代わり地蔵尊」は脇坂豊さんのホームページ(地図の下に記載)で、「古里の地蔵尊」として紹介されており、ぜひご覧ください。



http://homepage2.nifty.com/wakizaka/jizouson.htm

おねがい  
日本共産党躍進  
「ワンコイン募金」  
にご協力ください

日本共産党池田支部

新年を迎え、いつ解散・総選挙があつてもおかしくない情勢です。この総選挙に日本共産党は、比例代表北信越ブロックに山口のりひさ、中野早苗候補ら、長野二区にきしの正明候補を立ててたたかいます。立候補には、比例六〇〇万円、選挙区三〇〇万円の供託金が必要です。また、ポスターやビラなどの宣伝費・事務費などが必要で、日本共産党は、憲法違反の政党助成金を一銭も受け取らず、皆さんからの浄財で選挙をたたかっています。いま、池田支部では、この衆議院選挙での必勝をめざして「ワンコイン募金」に取り組んでいます。

国民の生活と平和を守るために、皆さんの先頭に立つてたたく日本共産党を、財政面から支えていただくために、「ワンコイン」募金にファンクラブの皆さんのご協力をお願いいたします。

部内資料

発行責任者 村端 浩 (62-8440)  
議員連絡先 山本 久子 (61-1066)  
服部 久子 (62-4357)

日本共産党  
池田ファンクラブ・ニュース  
新春特別号  
75号  
2008年1月

あした天気にな〜れ

庶民いじめの悪政に終止符を!  
日本共産党躍進の年に!

謹んで新年のお慶びを申し上げます

池田ファンクラブ  
会長 矢口 一成

日本共産党池田ファンクラブの皆さんには大変お世話になりました。四月の町議会議員選挙では、定数三減の中、二名の現職を当選させていただき、七月の参議院選挙でも池田町での得票を伸ばしました。これもファンクラブの皆さんのご支援の賜物であり、厚くお礼申し上げます。



新しい年を迎え、今年こそ安心して生活できる社会にしたいものです。しかし、自・公政権は医療・介護・消費税などで庶民に負担を押し付けようとしています。一方では政治にも変化が生まれています。薬害問題のように国民世論を



2008

高めるならば、政治を変えられる条件も広がっています。衆議院選挙がいつあつておかしくないと言われたいです。ファンクラブを大きくして政策を町民に知らせなければ、厳しい情勢を打開し選挙で勝利することができません。本年もよろしくお願いたします。



日本共産党北陸信越ブロック比例代表候補  
山口のりひさ

昨年是被災者生活支援法の見直しや政府の三四万トンの備蓄米買入れなど、北陸信越の住民の声が政治を動かした年でした。そして、いよいよゆきづまった自公政治に替わる新しい政治を開く年でした。今年こそ、みなさんと力を合わせてさらに政治を動かし、日本改革の展望を広げるために全力でがんばります。どうぞよろしくお願いたします。

新春のついで

とき 二月十日(日)  
午前十一時〜午後二時  
ところ 池田町福祉会館(二丁目)  
内容 ● 岸野さん講演  
● 古典落語 三遊亭白馬さん  
● 懇親会  
会費は一〇〇〇円です。手料理などの持ち寄り大歓迎です!

▼小泉内閣が米国に模倣した「構造改革」は、一握りの大企業、大資産家が栄え、国民には格差と貧困がひろがり、殺伐とした社会を生み出した。「おかし」と国民は参院選で怒りを爆発、自公を惨敗させた。「三年後に新憲法を」と公言した安倍政権は、日本国民にはなく米国に責任を負って一年で崩壊▼政府・政治家を含め「偽」が国中に氾濫。続発した食品の安全・安心を脅かす事件、閣僚等の事務所費や海自による米韓への給油量のごまかしとその流用、防衛官僚の軍需業者との癒着・利権の摘発など。小泉改革の模倣の結果だ▼薬害肝炎患者の一律救済、経団連のベースアップ容認、生活保護費削減の延期など、参院選の勝利後は国民の声の通りがよくなった。「下がった支持率が国民の命を守った」とはある新聞の評。消費税増税も延期▼憲法九条の国なのに、違憲の軍隊に巨額五兆円もの軍事費。利権にとどまらず、防衛政策と権力にも徹底的なメスが必要。そしてドゥル離れ、世界的な米国の地位低下のなかで対米追随を続ける日本政府の姿勢をただし、主権を取り戻さねば▼内閣改造を言いはじめ、支持率が上がるサミット後解散をねらう福田首相に、国民の意思を早急に突きつけよ